大阪大学経済学研究科/経済学部

部局間協定校派遣生の海外留学体験

１．基本情報

体験談記入日（☆）	2026 年　1 月　28 日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	経済学部経済経営学科
留学時の学年（☆）	2
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	☑交換留学　□　研究留学助成金 □　その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	イギリス・ロンドン
滞在都市（☆）	ロンドン
留学先大学等名（☆）	ロンドン大学 SOAS
留学先での所属学部/研究科（☆）	留学生は所属学部無し
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日（☆）	2025 年　9 月　14 日
渡航先からの出国日（☆）	2026 年　1 月　5 日
渡航先国での滞在期間（☆）	4 か月
同伴者の有無・続柄・年齢等	
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Consumer behavior 1 セメ 講義とセミナー
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Introduction in business MENA
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Organizational behavior

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Political economics
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	30 人ほど（自分は 5 人ぐらいとしか関わりがなかった）

成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	
履修科目の制限等（あれば）	
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	留学生用のサポートプログラムあり（利用しなかったので詳細はわからないです）
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	基本的に正規生と対等に扱われる
その他	

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	購買あり、食堂もあるがあんまり使っている人はいない印象（自分は一度も利用しなかった）
図書館について	綺麗。友達と勉強できるスペースもあった
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	ポーカーサークルに所属
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	担当に連絡すればいつも丁寧に対応してくれた
オリエンテーション等学校主催の行事について	授業開始前の welcome week でイベントやサークル紹介が行われる。友達たくさんできるのでおすすめ
現地の学生との交流について	同じ授業やサークル、大学にあるバーで仲良くなった
他の留学生との交流について	寮で部屋が近い人との交流が多かった
学外での活動について(地域コミュニティー活動等)	
長期休暇中の過ごし方	
その他	

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	6 か月以内のためなし　ETA の申請が必要だった
ビザの取得手続について(申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	
利用航空会社	

入国の際の現地空港名	ヒースロー空港
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	地下鉄ピカデリー線で一本
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	e-gate のため特に書類は必要なかった（念のために用意すべきだとは思う）
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	
その他	

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	有　　無
奨学金名	
奨学金月額受給額（円）	
入国時に用意した金額	
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	
留学中に利用した銀行名	
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	一学期の場合は必要ないと思う。バイト等ができないため。
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	WISE が便利
日本からの送金方法について	三井住友の無料送金を利用
1ヶ月の生活費（目安）	10-15 万（家賃抜き）
その他	ロンドンでキャッシュを使うことはない。現金を使ったのはポーカーサークルのみ

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類(学生寮(一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等)	学生寮
家賃	
住居を探した方法・時期	留学先大学から案内あり
荷物の運搬方法（ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	
その他	

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	自炊
1ヶ月の食費	
その他	

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	Gifgaff を利用　安く多くの容量を使える　EU 圏内の利用も一定データ可能
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	寮と大学は問題なく使えた
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	
郵便について	
交通機関について	基本問題なく利用できた
治安について	夜中に一人で出歩いても危険を感じることはなかった
保険について	付帯留学
医療機関・薬について	
気候と服装について	冬はよくない
普段の買い物について	Tesco lidl などスーパーはたくさんある
娯楽・行事について	
日本語の使用について	日本語を使う環境はなかった
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	電子レンジで使える炊飯器（友達はアマゾンで買ってた気がする）
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	英単語のインプット・具体的な目標設定
その他	

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	
留学中の学習方法、工夫したこと等	友達とよく話した
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	

８．その他

留学して得られたこと	
留学中に困ったこと	
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

【留学を決めた理由】

正直今でもこれに対する明確な答えは自分でも分かりません。小学校の頃に海外に住んでいた経験がありその頃から漠然とまた海外で生活したいという思いがありました。高校ではそのような機会に恵まれなかったので、大学で留学をしようと考えていたという感じです。留学先にロンドンを選んだのはイギリスかアメリカで英語を学びたいと思ったのとロンドンは金融の中心地でもあったからです。ヨーロッパ旅行ができるという点も大きかったです。

【授業について】

講義は日本と同じように教授が話すのがメインですがセミナーではディスカッションがメインなのでとても面白かったです。講義にはいかずセミナーだけ来ている人もいました。(おもしろいというよりは出席があるからだと思いますが) 日本ではなかなかできる経験ではないですし他の学生と交流する良い機会なので積極的に参加して発言もしていくと成長につながると思います。

【楽しかったこと・大変だったこと】

自分は旅行が好きなのでたくさん旅行をしましたが、授業終わりに友達と飲みに行ったり、課題の勉強を一緒にしたりと新しくできた友達と過ごす時間がとても楽しかったです。留学が終わってしまうとなかなか会うことができない友達なので、もっと遊んで思い出を作ればよかったなと思うときもあります。みなさんはそうならないように気を付けてください。

一方で、今までで一番悩み、自分自身と向き合った期間でした。「留学中の毎日を最大限活用できているのか」「留学が正しかったのか、一年いってもよかったのでは」「日本でやりたかったことできないな」などたくさんのことを考えていました。またみなさんもそうだと思いますが、経済学部から交換留学をする人はなかなかいないので、自分以外のみんなは今まで通り大学生活を送っています。自分はみんなとは違うことしてるぜ！的な感覚でいましたが、楽しそうだなって思う時期もありました。この留学でものすごくトレードオフの概念を実感しました。

【留学を考えている方へ】
留学するに至って知りたい情報はたくさんあると思います。自分も留学する前に体験談をたくさん読みました。丁寧に書いてくださる方もいればあまり情報ないやんって人もいました。自分の体験談もあまり情報がないと思います。正直に言うともう準備時期についてはあんな覚えてないのとなんとかなったからみなさんも大丈夫だろうっていう感じです。書いた方がいいかなということは軽く書きました。あとは他の学生に託します。

自分は旅が大好きでこれもギリシャのアテネで書いているのですが、昨日出会った 60 歳ぐらいのおじさんから「君が今経験しているすべてのことや周りの人がくれるアドバイスなどの意味を理解するのは十年後だよ」と言われました。留学中に色々悩んでいたからこそなんとなくこの意味も分かる気がしました。自分や他の人の体験談を読んでもイメージがわかないことが多いと思います。自分もそうでした。けど留学後に書く側になればわかります。結局人生そんなもんすよね、多分。

当然留学は簡単なことではなく、勇気が必要で大きな一歩を踏み出すことになると思います。ですが、みなさんがその大きな一歩を踏み出して最高の経験を得られることを願っています。YOU ONLY LIVE ONCE！